

## 小林 徹理事の「現代の名工」受章を祝う



現代の名工を受章した小林徹氏

小林 徹氏の「卓越した技能者」（現代の名工）受章祝賀会が昨年12月16日、東京都千代田区の主婦会館プラザエフにて開催され、メーカー、問屋、ブロック・エクステリアの業界団体、報道関係者など約40名がお祝いに訪れた。

発起人を代表して関東支部・足立双石支部長は「これを機にエクステリアの認知度が上がるきっかけになる。これからの業界を背負って行って欲しい」。本部より大木喜彦会長は「設計部門に重きが置かれる傾向がある昨今、改めて現場の大切さや職人の地位向上が重要だと分かる機会であった」。全国建築コンクリートブロック工業会・柳澤佳雄副会長は「コンクリートブロック積工として受

章されたことを嬉しく思う。コンクリートブロックのステイタスを高めてくれた」とお祝いを述べた。続いて来賓として訪れた全国エクステリア工業会・大森義雅会長は「必ず名工を取ると4年前に宣言し、有言実行されたことに敬服する。しっかりモノづくりをして現場に届けて行きたい」。トコナメエブコスの広瀬寿和社長は「小林氏は言行一致型の人。技術を高めながらお客さまに喜ばれることを追求する姿勢に感銘を受ける」と祝辞した。その後、ジャビックの玉井名誉会長が「高砂」を誦い、㈱リックの小松正幸常務の乾杯で祝宴に入った。



大木会長



足立支部長

### 小林 徹氏のあいさつ

「ここにいるというだけで胸が一杯で感動しています。感謝の言葉を一生懸命考えて書いてきましたが、今、これだけのすごい諸先輩方の目の前に立ち、皆様が本当に貴重な時間を割いて来ていただいたことを思うと、とてもその手紙だけではこの感謝の気持ちを伝え切れません。このご恩は一生忘れず、ずっと心の中で育てて行きますので、これからもよろしくお祈いします」と感謝・感動の気持ちを伝えた小林徹氏。さらに未来に向けて、「現代の名工受章は、ひとつの通過点に過ぎません。口には出せませんが、また次の目標があります。それに向かって、頑張っていきます」と宣言した。



受賞を祝しての乾杯



玉井名誉会長



全国CB工業会柳澤副会長



EX工業会大森会長



トコナメエブコス広瀬社長